



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東大

上場会社名 日新電機

コード番号 6641 URL <http://nissin.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小畑 英明

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 舌間 修平

TEL 075-864-8315

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	67,361	12.2	2,866	△15.2	3,078	△12.3	1,222	△37.4
23年3月期第3四半期	60,056	4.3	3,381	145.2	3,508	191.5	1,954	96.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 662百万円 (△35.0%) 23年3月期第3四半期 1,018百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	11.44	11.44
23年3月期第3四半期	18.31	18.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	104,267	57,124	52.4
23年3月期	109,409	57,451	50.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 54,688百万円 23年3月期 55,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	6.00	9.00
24年3月期	—	4.00	—		
24年3月期(予想)				5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	10.6	7,600	1.8	7,400	△1.5	4,600	1.6	43.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.2をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.2をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。
詳細は、添付資料P.2をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	107,832,445 株	23年3月期	107,832,445 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	948,751 株	23年3月期	1,019,349 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	106,862,150 株	23年3月期3Q	106,734,162 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	2
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3.	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	(3) 継続企業の前提に関する注記	8
	(4) セグメント情報等	8
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4.	補足情報	10
	(1) 海外売上高	10
	(2) 所在地別セグメント情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成23年4月1日～平成23年12月31日）の売上高は、経営環境が厳しい状況にある中、グループをあげて拡販に努めました結果、前年同期に比べ7,305百万円増加し67,361百万円となりました。報告セグメント別内訳では、電力機器事業の売上高は33,893百万円、ビーム・真空応用事業の売上高は17,373百万円、新エネルギー・環境事業の売上高は3,918百万円、ライフサイクル・エンジニアリング事業の売上高は12,177百万円となりました。

経常利益は、企業体質の改革・強化を推進し、コストダウンなど当社グループをあげて収益向上に努めましたが、競争激化による販売価格の下落などにより、前年同期に比べ430百万円減少し、3,078百万円となりました。

特別損益項目は、タイ国の洪水被害による損失234百万円を特別損失として計上しました。

以上の結果、法人税等及び少数株主利益調整後の四半期純利益は、前年同期に比べ731百万円減少し、1,222百万円となりました。

なお、当社の業績は、官公庁向け及び一般民需案件とともに第4四半期に売上が集中する傾向があるため、四半期別の業績には季節的変動があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部は、当第3四半期末で104,267百万円となり前連結会計年度末に比べ5,142百万円減少しました。これは主として、現金及び預金の減少、有価証券の満期償還による減少、及び受取手形及び売掛金の減少によるものです。

負債の部は、当第3四半期末で47,143百万円となり前連結会計年度末に比べ4,815百万円減少しました。これは主として、借入金の減少、及び前受金の減少によるものです。

純資産の部は、当第3四半期末で57,124百万円となり前連結会計年度末に比べ327百万円減少しました。これは主として、その他有価証券評価差額金の減少、及び為替換算調整勘定の減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想（前回平成23年10月25日公表）につきましては、現段階では変更しておりません。

（注）上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、従来、決算日が12月31日であった日新電機タイ株式会社他3社については、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しています。

また、日亜電機股份有限公司、日新電機（無錫）有限公司、日新（無錫）機電有限公司、北京宏達日新電機有限公司他13社の決算日は12月31日ですが、連結財務情報のより適正な開示を図るため、連結決算日において仮決算を実施した上で連結することに変更しています。

これらの変更により、当第3四半期連結累計期間は、平成23年4月1日から平成23年12月31日までの9ヶ月間を連結しています。なお、平成23年1月1日から平成23年3月31日までの3ヶ月間の損益60百万円を利益剰余金に計上しています。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社は、年間の税効果会計適用後の実効税率を見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて税金費用を計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①有形固定資産の減価償却の方法の変更

当社及び国内連結子会社は、従来、建物以外の有形固定資産の減価償却方法について定率法を採用してきましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しています。

この変更は、設備の稼働率や補修費の発生を調査した結果、概ね安定的、平均的に推移していることからより適切な費用配分を行うため、また親会社である住友電気工業株式会社と会計方針を統一するとともに、当社グループにおいても今後一層のグローバル展開を進めていくなかで、在外連結子会社と会計方針の統一をはかることを目的とするものです。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益は325百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は327百万円増加しています。

②有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び一部の国内連結子会社は、従来、機械装置の耐用年数を7年として減価償却を行ってきましたが、第1四半期連結会計期間において、減価償却方法の変更を契機として、資産の利用状況等を調査し、耐用年数の妥当性について検討した結果、耐用年数を10年に見直し、将来にわたり変更しています。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は49百万円増加しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,909	5,003
受取手形及び売掛金	33,048	31,537
有価証券	3,043	1,077
たな卸資産	26,004	31,178
その他	6,041	7,003
貸倒引当金	△366	△576
流動資産合計	80,680	75,224
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,108	10,545
その他(純額)	8,936	8,994
有形固定資産合計	18,044	19,539
無形固定資産		
投資その他の資産	1,867	1,559
その他	9,153	8,370
貸倒引当金	△335	△426
投資その他の資産合計	8,817	7,944
固定資産合計	28,729	29,043
資産合計	109,409	104,267
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,757	19,994
短期借入金	5,247	3,732
未払費用	5,407	3,771
未払法人税等	1,638	689
前受金	9,038	6,728
賞与引当金	—	1,316
受注損失引当金	795	970
その他の引当金	927	1,053
その他	2,193	1,990
流動負債合計	45,006	40,247
固定負債		
長期借入金	351	173
退職給付引当金	3,554	3,681
環境対策引当金	2,204	2,203
その他	841	838
固定負債合計	6,951	6,896
負債合計	51,958	47,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,252	10,252
資本剰余金	6,664	6,679
利益剰余金	39,791	40,006
自己株式	△317	△295
株主資本合計	56,390	56,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	924	403
繰延ヘッジ損益	19	△0
為替換算調整勘定	△2,134	△2,357
その他の包括利益累計額合計	△1,191	△1,954
新株予約権	16	10
少数株主持分	2,234	2,425
純資産合計	57,451	57,124
負債純資産合計	109,409	104,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	60,056	67,361
売上原価	42,678	49,170
売上総利益	17,378	18,191
販売費及び一般管理費	13,996	15,325
営業利益	3,381	2,866
営業外収益		
受取利息	47	50
受取配当金	84	108
その他	358	356
営業外収益合計	491	514
営業外費用		
支払利息	217	174
その他	145	128
営業外費用合計	363	302
経常利益	3,508	3,078
特別利益		
固定資産売却益	105	—
特別利益合計	105	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	221	—
災害による損失	—	234
特別損失合計	221	234
税金等調整前四半期純利益	3,392	2,844
法人税等	1,096	1,344
少数株主損益調整前四半期純利益	2,296	1,500
少数株主利益	342	277
四半期純利益	1,954	1,222

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,296	1,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△418	△520
繰延ヘッジ損益	3	△19
為替換算調整勘定	△862	△292
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△5
その他の包括利益合計	△1,277	△837
四半期包括利益	1,018	662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	794	459
少数株主に係る四半期包括利益	224	202

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3 四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円 未満切捨）

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	電力機器事業	ビーム・真空 応用装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	45,823	14,233	60,056	—	60,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	250	37	288	△ 288	—
計	46,074	14,270	60,344	△ 288	60,056
セグメント利益	3,868	1,157	5,026	△ 1,644	3,381

- (注)1. セグメント利益の調整額△1,644百万円には、セグメント間取引消去3百万円、全社費用△1,648百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3 四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円 未満切捨）

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電力機器 事業	ビーム・真空 応用事業	新エネルギー ・環境事業	ライフサイクル・ エンジニアリング 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	33,893	17,373	3,918	12,177	67,361	—	67,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	303	11	6	543	865	△ 865	—
計	34,196	17,384	3,925	12,720	68,227	△ 865	67,361
セグメント利益又は損失(△)	1,620	1,370	△ 1,115	2,000	3,876	△ 1,010	2,866

- (注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,010百万円には、セグメント間取引消去△24百万円、全社費用△985百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない売上原価及び一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1 四半期連結会計期間から、新中長期計画「ビジョン2015」の策定に伴う事業構造の再構築のため、報告セグメントの区分表示を「電力機器事業」「ビーム・真空応用装置事業」の2つの事業セグメントから、「電力機器事業」「ビーム・真空応用事業」「新エネルギー・環境事業」「ライフサイクル・エンジニアリング事業」の4つの事業セグメントに変更しています。

当連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更前の区分表示により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下の通りです。

(単位：百万円 未満切捨)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書計上額 (注)2
	電力機器事業	ビーム・真空 応用装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	46,757	20,604	67,361	—	67,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	310	42	352	△ 352	—
計	47,067	20,646	67,714	△ 352	67,361
セグメント利益	2,243	2,459	4,702	△ 1,836	2,866

- (注)1. セグメント利益の調整額△1,836百万円には、セグメント間取引消去7百万円、全社費用△1,844百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 海外売上高

(単位：百万円 未満切捨)

区 分	前年同四半期 (平成22年4月～平成22年12月)		当四半期 (平成23年4月～平成23年12月)	
	金額	連結売上高に 占める割合%	金額	連結売上高に 占める割合%
海外売上高				
アジア	21,152	35.2	24,209	35.9
その他	908	1.5	4,715	7.0
合計	22,060	36.7	28,925	42.9

(2) 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年12月31日) (単位：百万円 未満切捨)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,296	12,740	19	60,056	—	60,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,921	834	50	2,806	△ 2,806	—
計	49,218	13,574	69	62,862	△ 2,806	60,056
セグメント利益又は損失(△)	2,986	2,033	△ 17	5,002	△ 1,620	3,381

当第3四半期連結累計期間 (平成23年4月1日～平成23年12月31日) (単位：百万円 未満切捨)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	52,296	14,862	202	67,361	—	67,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,887	1,349	192	3,429	△ 3,429	—
計	54,183	16,212	395	70,791	△ 3,429	67,361
セグメント利益	2,872	1,645	57	4,575	△ 1,708	2,866